

作成日 2025 年 8 月 26 日  
(最終更新日 20 年 月 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5287

課題名 : 「胃癌術後の消化酵素剤の投与が術後栄養状態に与える影響に関する検討」

### 1. 研究の対象

2007 年 1 月～2014 年 12 月の間に当院において胃癌に対して胃切除術を施行した方

### 2. 研究期間

2025 年 9 月 1 日～2026 年 12 月 31 日

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 9 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

### 4. 研究目的

胃がんの手術を受けた後は、胃酸の分泌が少なくなったり、まったく出なくなったりすることで、消化や腸の働きに変化が起こります。こうした変化に対応するために、消化を助ける薬（消化酵素剤）が使われることがありますが、その薬が手術後の栄養状態にどのような影響を与えるのかは、はっきりしていません。

そこで本研究では、2007年から2014年の間に当院で胃の手術を受けた369人を対象に、消化酵素剤を使った場合と使わなかった場合で、手術後の栄養状態にどのような違いがあるかを調べます。

### 5. 研究方法

2007年から2014年の間に、当院で胃がんの手術を受けた方を対象とします。手術後に消化酵素剤を投与された方と、されなかった方で、手術前後の採血結果や体重変化などをもとに、栄養状態の変化や脂肪肝の状態、および予後を検討します。

したがって、さらなる検査や受診などの必要はありません。

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 性別や年齢などの臨床データ、臨床検査データ、画像データ、病理学的データ、予後

### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 8. 研究組織

本校単独の研究です。

### 9. 研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、患者さん個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたします。

## 10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は講座研究費です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

**当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：**

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院外科 矢口義久

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2356） 電話対応時間 9時～16時

y-yaguchi@ndmc.ac.jp

**当院の研究責任者：**防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部 辻本広紀